

# 宝石の原点 鉱物採集初体験記

AGEジェムラボラトリー タキガワ シュウコウ  
滝川 修功

先日、週末を利用してAGT大阪のラボスタッフ5人で、京都と奈良へ鉱物採集に行ってきました。初めて採集に参加する私にとって鉱物の美しさを再確認する良い機会となりましたので、以下にその成果をレポートいたします。



採集した水晶の結晶

最初の採集場所は京都府のJR木津駅から木津川にそって東に向かい、法花寺野のバス停をすぎた山道沿いにある採石現場の一角にありました。許可をいただいて現場の山側に少し入ると、そこには幅5m高さ3m程にわたって桜色の壁が広がっていました。少々鉱物知識さえあれば一目瞭然、そこは一面パラ輝石（ロードナイト）の壁でした。パラ輝石は地表に長くさらされると風化して黒っぽく変色してしまうので、このような新鮮な露頭観察の機会はまれであると思われます。カット研磨後の石からはこのような母石の壁の光景



ロードナイトの壁

は想像できず、しばし見とれてしまいました。またこの付近では昔マンガン鉱石が採掘されていたらしく、探せばパラ輝石以外のマンガン鉱物も見つかります。

そして、比較的美しい桜色の部分を選び少し持ち帰ってみました。ロードナイトは硬度6と比較的やわらかで昔からビーズやカメオなどに加工されることが多かったそ

うなので、簡単な加工研磨ならと思いついて挑戦してみました。

加工は、まずハンマーで適当な大きさに砕いてから電動式のリューターで形を整えサンドペーパーで研磨するだけのごく簡単な作業なので、これから夏休みを迎えるお子様の自由課題などにされてはいかがでしょうか。

次に訪れたのは最初の採集場所から車で20分程の奈良県に位置し、更に徒歩で険しい山中を約15分登ったところがありました(環境保全のため採集地秘密)。そこは一見ただ

の土と砂利の斜面に見えましたが、足元をよく見ると小さく透明な物体が所々に転がっていました。手分けして斜面の土を掘り進んでいくと、驚くような発見がありました。美しい六角柱状に結晶した水晶(ロッククリスタル)が現れたのです。水晶は通常、地殻中に生じた空洞や岩層の割れ目に成長しますが、風化によって土砂に混じってこのような形で見つかったようです。



加工研磨後の作品2点

しかし、いずれにせよ自分の手で残留鉱床から掘り出したことには思わず感動してしまいました。私は今回初めて鉱物採集を体験しましたが、比較的小さな結晶とはいえ水晶の透徹したみごとな六角柱状の結晶は、いくらながめても見飽きることがありません。世界には約4000種の鉱物があり、そのうち約1000種が日本でも採集できるそうです。関連情報はインターネットなどで簡単に入手できるので、みなさんもいちど身近なところから鉱物採集に出かけてみて、自然の神秘に触れてみませんか？



採集中の同行メンバー三荒さん

## 採掘・採集の注意点

- ・採集・立ち入りの許可は必ず取る
- ・安全確保を心がける
- ・自然保護 などに留意する

\*採掘・採集にあたっては、マナーを守り自己責任において行動してください。